

政党と政府の接近

⑤
1 伊藤博文(II)内閣 1892~96.8. 2 自由党の支持 日清戦争後、内務大臣に3 板垣退助

⑥
4 松方正義(II)内閣 1896.6~97.12 5 進歩党 と提携 外務大臣に6 大隈重信 (“^{しょうわい}松隈内閣”) 金本位制の実現(1897) 5 1896年 改進黨中心に^{しょうわい}対外硬派などで結成 内閣は地租増徴を提案 →進歩党の反発 →議会を解散し自ら総辞職

⑦
7 伊藤博文(III)内閣 1898.1~98.6 地租増徴案提出 (←陸海軍の軍備拡張要求) →自由・進歩両党の反対・合同→8 憲政党 結成(1898)→内閣総辞職

9 大隈重信(I)内閣 1898.6~98.11 10 内相板垣...” 11 隈板内閣 ” 12 初の政党内閣
13 共和演説 事件で、文部大臣14 尾崎行雄辞職→後任選びが難航→4か月で退陣
15 「日本に仮に共和政治ありという夢を見たと仮定せよ」という発言が不敬と攻撃される
☆憲政党分裂→14 憲政党(旧自由党系)と15 憲政本党 (旧進歩党系)

⑨
16 山県有朋(II)内閣 1898.11~1900.10 17 憲政党と提携

- (a) 18 地租増徴の実現... 2.5%→3.3% ※地価修正などを条件に
- (b) 19 治安警察法 (20 1900)...社会運動・農民運動の取締
- (c) 政党の勢力弱体化、21 官僚・軍部を政党から分断
 - 22 選挙法の改正(1900)...納税資格23 10円以上 有権者24 約2.1% ※大選挙区・無記名など
 - 25 文官任用令の改正(1899)...文官高等試験による任用を拡大(政党員を排除)
 - 文官懲戒令・文官分限令(1899)...官僚の身分を保障し、政権交代と切り離す
 - 26 軍部大臣現役武官制 (27 1900)...陸軍・海軍大臣は現役の大將・中將に限定

→憲政党反発、伊藤に接近→28 立憲政友会 誕生(29 1900)...総裁は伊藤
※幸徳秋水「嗚呼自由党死す」(「自由党を吊る文」『万朝報』)

⑩
30 伊藤博文(IV)内閣 1900.10~1901.5 与党 31 立憲政友会 外相加藤高明
さらなる地租増徴案に貴族院が反対 閣内も対立 →短期間で退陣

⑪
32 桂太郎内閣 1901.6~06.1 外相33 小村寿太郎 日英同盟・日露戦争など

※以後、伊藤・山県らは第一線を退く→34 元老 として背後から影響力
15 天皇の最高顧問(非公式) 後継首相の選出などを行う

帝国主義と中国 ☆³⁵帝国主義…資本主義国家による³⁶植民地獲得(世界分割)

…³⁷有利な原料供給地・製品販売市場の必要

欧米列強の³⁸中国分割 ※「眠れる獅子」と警戒されていたが日清戦争で弱体化を露呈

港湾や都市の³⁹租借 (条約で他国の領土の一部を借用すること 実質的には領土割譲)

↳ 鉄道敷設権→沿線の鉱山採掘権へと展開 ^{そかい}租界(外国人居留地)の設置

〈例〉^{イギリス} 九龍半島(香港対岸)・^{イカイエイ}威海衛(山東半島北端) ^{フランス} 広州湾

^{ドイツ} ^{コウシュウ}膠州湾(山東半島南西部) ^{ロシア} ⁴¹旅順・大連(遼東半島南部)

※日本は福建省(台湾の対岸)の他国への不割譲を約束させる

…ヨーロッパに対してアメリカ大陸との相互不干渉を提唱 1823～

⁴²アメリカの参入…⁴³モンロー主義から転換 →ハワイ併合[1898]、フィリピン領有[1898]

国務長官ジョン=ヘイの三原則(⁴⁴門戸開放・機会均等・領土保全)要求

⁴⁵義和団事件[1899]…⁴⁶扶清滅洋”をスローガン 北京・天津に迫る

…^{びやくれんきょう}弥勒信仰を基礎とする白蓮教系の秘密結社 “義和拳”

→⁴⁷北清事変 [48]1900…清、列国に宣戦布告 →列強(8カ国)連合軍により鎮定

→1901. ⁴⁹北京議定書 (^{しんちゅう}辛丑条約)…⁵¹北京への軍隊駐留権 賠償金(4億5千万^{テール}両)

【正誤問題に挑戦】〈1991年本試験より〉

- (1) 日清戦争後になると、政府と政党のあいだには妥協が進み、政党結成をめざした大隈重信と憲政党の提携によって立憲政友会が結成された。
- (2) 政府のなかには超然主義を維持しようとする勢力も強く、山県有朋内閣は文官任用令を改正し、また軍部大臣現役武官制を定めた。